

# 授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	流山市立流山北小学校
-----	----------	-----	------------

## 1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成30年度調査では、算数の「数量関係」に課題が見られた。特に数直線などの読み取りができていないなど、2つの数量関係を正確に理解できていないことが考えられ、継続的に取り組んでいる。
- 平成31年度調査においても国語算数ともに全国平均を下回っている。算数の「数と計算」が全国平均を下回っており、基礎基本の定着が必要である。
- 平成31年度児童質問紙において、「家庭での学習習慣」に課題がみられる。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 数直線の読み取りに力を入れるとともに、適用問題に焦点を当てた授業改善を全学年で行えば、数量関係に関する知識理解及び活用力の向上が図れるだろう。

## 3. 具体的な実践

- 第2学年「新しい計算を考えよう」【別添資料1】
  - ・テープの図を活用して系統的に取り組んだ。
- 第4学年「ちがいに目をつけて」【別添資料2】
  - ・線分図を活用して適用問題に取り組めるようにした。
- 第5学年「単位量あたりの大きさ」【別添資料3】
  - ・直線を用いて正確な立式をできるようにした。
- 算数における基礎基本の定着のための取り組み【別添資料4】
  - 各学年の実態に合わせ、基礎基本の定着を図っている。
- 5年1組の全国学力・学習状況調査の過去問のグラフ【別添資料5】（違う領域のもの）
  - 5年1組（授業展開クラス）の全国学力学習状況調査の比較

## 4. 成果

- 検証授業実施学年の結果について（同じ領域のもの）
  - ・4年 事後調査に「平成25年全国学力・学習状況調査」B問題1を実施したところ、全国平均正答率に比べ(1)は0.8ポイント、(2)は0.4ポイント上回った。千葉県平均に比べ(2)は4ポイント上回った。
  - ・5年 事後調査に「平成25年度全国学力・学習状況調査」A問題4を実施したところ、全国平均正答率に比べ30.8ポイント、千葉県平均に比べ30.6ポイント上回った。  
事後調査に「平成26年度全国学力・学習状況調査」A問題4を実施したところ、全国平均正答率に比べ(1)は9.8ポイント、(2)は24.5ポイント上回った。千葉県平均に比べ(1)は8.9ポイント、(2)は24.7ポイント上回った。

### ◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 林部 理絵）

流山北小学校は、自校の課題を「二つの数量の関係」にあると位置付け実践した。中でも「数直線」に焦点を当て、学年間の数直線の扱いや指導方法等を全職員が共通認識のもと、実践に取り組んだ。また、知識や技能等の習得を確かなものにするために学習過程に、他者との協働を位置付け、身に付けた知識の習得、活用を目指して実践した。